



音楽の読み取り力を 養おう

～ライブ「乱聴」のススメ

諫山隆美 (音楽評論家)

ピティナのホームページに「昨日のピアノ」というコーナーが始まった。当協会正会員で音楽評論家の諫山隆美氏による演奏会の即日レビューだ。鑑賞の講座も数多く開く”鑑賞の伝道師”に、聴くことによってピアノがうまくなりそうなヒントを伺った。

——「昨日のピアノ」は早くも第4回を迎えました（4月5日現在）。新聞でも最近リアルタイムで批評が載らないので、画期的ですね。

「演奏会から帰ってきてすぐに執筆していますから、翌日の正午にはインターネット上でレビューを見ることができます。東京は世界でも類を見ないほど演奏会の多い都市ですが、名演奏の数々が触れられずに終わっていることが多いのではないのでしょうか。非常にもったいないので、まずは、演奏を聴いていなくても演奏会のおもしろさを感じ取っていただき、その後「行かなくて損した！次には行ってみようかな」と思ってくれるようになれば最高だと思います。ちなみに私は学生時代、貯金を全て演奏会につきこんでしまいました。」

——なるほど、感動の産地直送ですね。しかし、CDでもたくさん音楽を聴ける今、どうしてライブをおすすめするのでしょうか？

CDとコンサートでは情報量に比較にならないほどの差があるからです。作品の内容ばかりか、その作曲家や演奏家の思想や生き方に至るまで、演奏に内包されている

音楽の情報をまるごと受け取るのはライブの方が格段に有利でしょう。もしも自宅がサントリーホールみたいに大きくて、フルコンのピアノより大きなスピーカーを持っていればあまり差はないかもしれませんが！CDでも、強弱やテンポ設定など表面的なことはわかりますが、音や響きはCDから読み取りにくいので、それを重要視している演奏だとCDではなかなか良さがわからない。CDで音楽を読み取る、というのは実はかなり高度で難しいことです。自分の地域にはコンサートが少ないと嘆かれる方は、車や新幹線で何時間もかけて行ってみてもそれに見合った価値があるかも知れません。」

——では演奏会になじんでいない小さな生徒、学生に、指導者はどういう手引きができるのでしょうか？

「指導者が生徒を連れて演奏会に行く場合、ちょっと気をつけなければいけないのは、指導的聴き方、音楽を楽しむ聴き方のふたつを使い分けなければいけないことです。指導者の立場だけだと、演奏の欠点を指摘しがちですが、（もちろんこれは指導者の重要な資質ですが）、演奏会では音楽の良さを聴き取ることが大切ではないのでしょうか。」

——例えば、日頃「これはだめですよ」と言っている演奏を、演奏会で聴いてしまったら生徒は混乱しないでしょうか？

「たとえば、金髪が素敵な欧米

人を見て、“すてきだわ”と思って日本人が脱色をしても果たして同様に素敵に見えるでしょうか？つまりその生徒にとって最良の方法というのが必ずあるわけで、あの演奏家はこう弾いてもいいがあなたには必ずしもいい方法ではないということを説明すればいいのです。全ての芸術に言えると思われることですが、模倣から入るのは良くても、模倣で終わってはいけないですよ。」

——安心しました。では、どんな演奏会に連れていけばいいのでしょうか？

「興味のもてるところから入っていいでしょう。予算、好きなプログラム、チラシの美しさ……。演奏家の顔、でもいいのでは？（これは美形か否かというのではなく、どんな表情がすてきなのか、という意味で）なんとなく興味をもって行ってみたところ、なんとなく興味をもてた、で大成功と思います。とにかく小学校高学年から高校生の間から本の乱読と同じように数多く、手当たり次第聴くことを始めてほしいです。すると音楽の読み取り力は自然についてきますから。」

——音楽の読み取り力が高い人は、演奏のレベルも高いといえますか？

「既して国際コンクールで入賞する方などは、判断能力が高い場合が多いようです。」

——いい音の蓄積によって、それを再現することができるからでしょうか？

「演奏に内包されている音楽の情報を まるごと受け取るには、ライブの方が 有利ですね。」

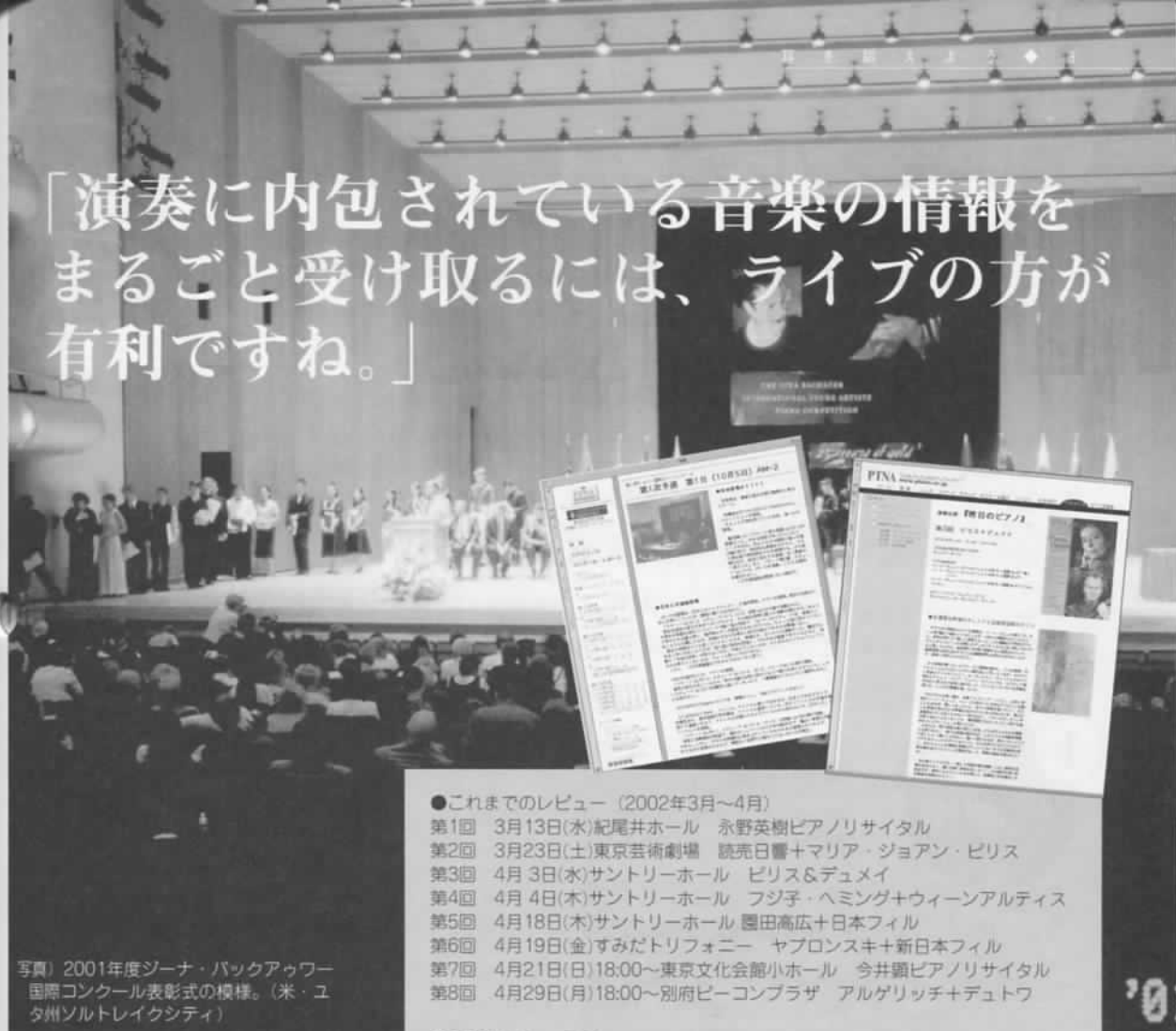


写真) 2001年度ゾーナ・バックアウワー
国際コンクール表彰式の模様。(米・ユ
タ州ソルトレイクシティ)

左) 話題となった2000年度ショパン国際コンクール連報Web。フルシャワから最新映像と演奏評論を毎日送り続けた。2002年度チャイコフスキーコンクールも同様の連報を予定。

中央・左) 3月よりスタートしたWeb連載「昨日のピアノ」。コンサートの翌日、インターネットでレビューが楽しめる。昨夜の感動が蘇る一瞬。

「技術にもよるので一概には言えませんが、“こんな音が出るんだ!”と自分の発想になかったことを知り、それが“こういう音を出したい”となる、つまり演奏の目標設定に多大な影響を与えるだろうと考えています。今ピアノを習っている人で、自分で具体的に明確な目標を持っている人は何人いるでしょうか?目標設定をできたということ自体がひとつの才能と言うべき、重要な要素だと思

ます。「演奏にも目標設定がある」ということを知るだけでも音楽鑑賞の意義は大きいと思います」
—— ホームページで取り上げる演奏会はおすすめのものばかりですから是非一緒に聴いていただき、音楽の読み取り力を深めていってほしいですね。

「レビューでは、できるだけ多くの良かった点を抽出しようと思えますので、こんなにいい音楽をたくさんやっているということ

を受け取ってほしいですね。聴いた夜に半徹夜でたくさん書くのは過酷なのですが、できるだけたくさん演奏会の生きた表情をフレッシュなうちにお伝えしたいと思っています。」

——ありがとうございます。
(インタビュー・文◎小里歩)

謙山氏の「昨日のピアノ」は
<http://www.piano.or.jp/review/isa/>
/で見ることができます。

●これまでのレビュー (2002年3月~4月)

- 第1回 3月13日(水)紀尾井ホール 永野英樹ピアノリサイタル
- 第2回 3月23日(土)東京芸術劇場 読売日響+マリア・ジョアン・ピリス
- 第3回 4月3日(水)サントリーホール ピリス&デュメイ
- 第4回 4月4日(木)サントリーホール フジ子・ヘミング+ウィーンアルティス
- 第5回 4月18日(木)サントリーホール 豊田高広+日本フィル
- 第6回 4月19日(金)すみだトリフォニー ヤブロンスキ+新日本フィル
- 第7回 4月21日(日)18:00~東京文化会館小ホール 今井顕ピアノリサイタル
- 第8回 4月29日(月)18:00~別府ビーコンプラザ アルゲリッチ+デュトワ

●5月のレビュー予定

- 第9回 11(土)●18~日本Ph+伊藤恵 (みなとみらい) モーツァルト24
- 第10回 12(日)●14~アンジェラ・ヒューイット (水戸芸術館)
- 第11回 14(火)●14~田部京子 (トッパン)
- 第12回 15(水)●1830~アカデミー室内管+ベライア (サントリー)
- 第13回 16(木)●19~NHK響+オズボーン (NHKホール) Ravel左手
- 第14回 18(土)●18~東響+バックス (オペラC) チャイコ1
- 第15回 21(火)●19~アレッシオ・バックス (紀尾井)
- 第16回 27(月)●19~キーロフ歌劇場+清水和音 (サントリー)
- 第17回 31(金)●19~NHK響+スゴダ (NHKホール)